

2023年10月6日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

水郡線オリジナルカレンダーを販売します！ ～社員が撮影した水郡線の写真をお楽しみください！～

JR東日本水戸支社では、水郡線沿線で働き、沿線の活性化に取り組む社員が企画した、2024年水郡線オリジナルカレンダーを発売します。

社員が撮影した水郡線沿線の四季折々の景色やお客さまが目にする機会が少ない水郡線統括センター内の風景を中心に、表紙を含めた厳選した13枚の写真で構成しています。

ぜひこの機会にお買い求めいただき、水郡線の魅力が詰まったカレンダーとともに新たな1年をお迎えください。

商品概要

【販売開始日】 2023年10月14日（土）

【商品名】 2024 水郡線統括センター A5卓上カレンダー

（表紙含む13枚・A5サイズ卓上タイプ、デザインについては別紙参照）

【販売箇所】 NewDaysミニ水戸1号、NewDaysミニ水戸7号、NewDays勝田

※販売時間は各店舗の営業時間に準じます。

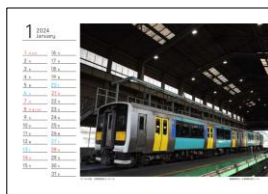
※販売箇所は変更となる場合があります。

【価格】 1,210円（税込）

オリジナルクリアファイルをプレゼント（3店舗合計 先着100名様限定）

※販売数量には限りがあります。

〔カレンダーイメージ〕



【別紙】

表紙「キハ E130 系、のどかな田園風景を走る(キハ E130 系、常陸津田駅～常陸青柳駅間)」



のどかな田園風景の中を走るキハ E130 系です。色のコントラストが絶妙です。

1 月「車庫内で出発を待つ(キハ E130 系、水郡線統括センター内)」



車庫内での整備を終え、次の運用に備えるキハ E130 系です。日々、車両メンテナンス社員が点検を行い安全・安定輸送を支えています。

2 月「風っこストーブ奥久慈号(キハ 40 系びゅうコースター風っこ、常陸大子駅)」



営業運転に向けて準備を進める風っこ号です。水郡線には、1 年を通して様々な車両が訪れます。その中でも風っこ号は大活躍の車両のひとつです。

3 月「春を感じるキハ E130 系(キハ E130 系、玉川村駅～常陸大宮駅間)」



春になると沿線には沢山の花が咲きます。菜の花の黄色は、ご利用されるお客さまに春の訪れを感じさせてくれます。

4 月「沿線の桜とキハ E130 系(キハ E130 系、磐城石川駅～里白石駅間)」



水郡線沿線には、数多くの桜の名所があります。それぞれの箇所ですら趣のある桜を楽しめます。

5 月「転車台とキハ E130 系(キハ E130 系、水郡線統括センター内)」



水郡線統括センター名物の転車台です。往年は蒸気機関車の方向転換に活躍していました。

6 月「久慈川と Shu*Kura(キハ 40 系越乃 Shu*Kura、矢祭山駅～下野宮駅間)」



普段は新潟県内を走ることが多い Shu*Kura が夏の水郡線を駆け抜けました。久慈川とのコラボは、貴重な一枚です。

7月「水郡線統括センター内の日常（キハ E130 系、水郡線統括センター内）」



留置車両越しのキハ E130 系です。何気ない水郡線の日常を社員ならではのアングルで撮影した遊び心ある一枚です。

8月「常陸大子駅に集う（キハ E130 系/ホキ 800 形/DE10 形、水郡線統括センター内）」



常陸大子駅に車両たちが集結しました。夏空の下、入換作業の合間の貴重なタイミングで実現しました。

9月「稲穂の中を走るキハ E130 系（キハ E130 系、常陸津田駅～常陸青柳駅間）」



実りの秋を迎えた水郡線。沿線各地では稲刈りの様子が見られ季節の移り変わりを堪能できます。

10月「色づく山々とキハ E130 系（キハ E130 系、下野宮駅～矢祭山駅間）」



紅葉シーズン、深まりゆく秋の景色に目を奪われます。キハ E130 系の車体の色が一段と映える時期です。

11月「総括重連に向けた試運転（DE10 形、常陸大宮駅～静駅間）」



DL すいぐん号運行に向けて、試運転が行われました。お客さまに安心してご利用いただくために、準備にも力が入ります。

12月「西金工臨（DE10 形+ホキ 800 形、野上原駅～玉川村駅間）」



長年、水郡線を走行してきた DE10 形とホキ 800 形です。DE10 形の放つ存在感とホキ 800 形の重厚感が水郡線の景色に良く似合います。

【制作社員のコメント】

2019 年 10 月の台風 19 号の被害に見舞われた水郡線は、2021 年 3 月に全線運転再開し、多くの方々に支えられて力強く復興を遂げてきました。今後も皆さまから愛される路線として「水郡線の魅力」をお伝えしたくカレンダーを制作しました。水郡線沿線の豊かな自然風景や社員ならではの写真の数々をご覧ください、水郡線をさらに身近に感じていただければ幸いです。